

第 14 課

ヨハネの福音書 第14章

この課であなたが学ぶことは……

父なる神への道であるイエス
聖霊の約束

父なる神への道であるイエス

ヨハネの福音書14：1～14を読んで下さい。

イエスが弟子たちに、自分は死んで彼らのもとから離れなければならないことを告げると、弟子たちは非常に悲しみました。しかし、天国で所を備えに行き、再び彼らを迎えに来ることを予告して励まされたのです。

イエスが再びご自分の民の所に戻られるということは、私たちにとって非常に大事なことなのです。それは主と共に永久にいたために私たちを迎えに来られるのです。その日の来ることはすばらしいことですが、私たちはその日に備えていなければなりません。私た



ちの中に罪があるならば、イエスと共に行くことはできません。私たちはイエスの救いにあずかり、神によって生きていることによって主と共に連れて行かれるのです。

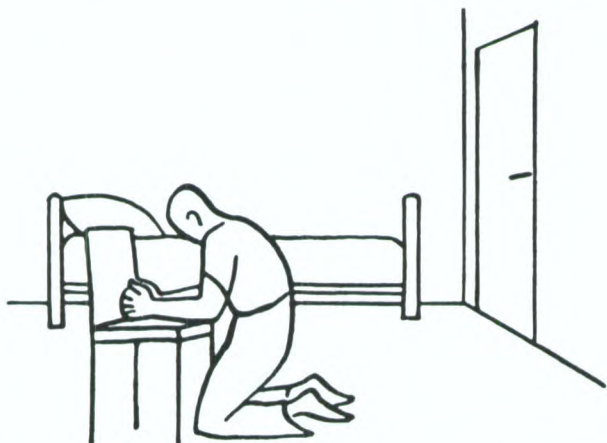
わたしが行って、あなたがたをわたしのもとに迎えます。
わたしのいる所に、あなたがたもおらせるためです。

ヨハネ14：3

イエスは、ご自分こそ父なる神への唯一の道であると言われました。天国への道は他にありません。救われるためには、主イエス・キリストを信じる他はないのです。

わたしが道であり、真理であり、いのちなのです。わたしを通してでなければ、だれひとり父のみもとに来ることはありません。

ヨハネ14：6



イエスは、「私を信じる者は、私の業よりも更に大きな業をする」と言われました。イエスは地上におられる間は、一定の場所に、一定の時間しかいることはできませんでした。しかし、彼の弟子が増えて何千人にもなり、神の助けを得て彼らはイエスのなされたこの何倍もの業を行うことができるのです。

そして私たちにイエスの名（13、14節）によって祈ることを教えられました。イエスの名によって祈るということは、イエスご自身が祈られたような祈りをすることを意味します。それは私たちが神のみこころを知ってそれに沿った祈りをするということです。そしてイエスの持つておられた権威をもって祈るということなのです。



自習のために

- 1 ヨハネ14：3と、14：6を暗誦して下さい。

- 2 イエスはご自分が弟子のもとを離れると言われた後に、どのように彼らを励まされましたか。
 - 1) また来て、彼らをご自分のもとに迎えると言われた。
 - 2) 弟子たちも死んで、神と共に住むと言われた。
 - 3) 弟子たちはもうご自分を必要とはしないとされた。

- 3 神への道はいくつかありますか。
 - 1) 多くあって、どの宗教も神のもとに導く。
 - 2) あなたが誠実であればどれでもよい。
 - 3) イエス・キリストひとりだけ。

- 4 祈りについてイエスは何と言われましたか。
 - 1) 彼に従う者はイエスの名によって祈り、イエスはその祈りに答えられる。
 - 2) イエスに従う者は、母マリヤの名によって祈る。
 - 3) イエスに従う者は偶像に祈る。

聖霊の約束

ヨハネの福音書14：15～31を読んで下さい。

14、15、16章では、聖霊が助け主として何をするかについて記しています。神を信じない人々は聖霊を受けることはできませんが、信じる者には聖霊が与えられるのです。聖霊は真理の霊であって、私たちが真理を悟るように導いて下さり、イエスが教えられたことを思い出し理解できるよう助けて下さるのです。

わたしは父にお願いします。そうすれば、父はもうひとりの助け主をあなたがたにお与えになります。その助け主がいつまでもあなたがたとともにおられるためです。

ヨハネ14：16

イエスは、私たちは行いによって本当にイエスを愛していることを表わすものであると言われました。

だれでもわたしを愛する人は、わたしのことばを守ります。そうすれば、わたしの父はその人を愛し、わたしたちはその人のところに来て、その人とともに住みます。

ヨハネ14：23



自習のために

- 5 ヨハネ14：16：23を暗誦して下さい。
- 6 イエスは弟子たちのもとから離れた後には、どのような助けを約束されましたか。
 - 1) 弟子たちと共にいる聖霊を送る。

2) 弟子たちのために祈る。


3) 弟子たちと共に語る。

7 イエスを愛すると言う者にはどのような証しが必要ですか。

1) 洗礼を受け、教会に出席している。

2) イエスの教えと、戒めを守る。

3) 善行をする。



正 解

2 1) また来て彼らをご自分のもとの迎えると言われた。

6 1) 弟子たちとともにいる聖霊を送る。

3 3) イエス・キリストひとりだけ。

7 2) イエスの教えと、戒めを守る。

4 1) 彼に従う者はイエスの名によって祈り、イエスはその祈りに答えられる。